

全大教新聞

2025年7月10日

第433号

【発行所】
全国大学高専教職員組合
(略称：全大教)



【PDF版(全面カラー)】
http://zendaikyo.or.jp/?page_id=107

【電話】03-6802-4250

【HP】<http://zendaikyo.or.jp/>

【所在地】〒110-0012
東京都台東区竜泉
2-20-15 都築ビル2階

* 組合員の購読料は
組合費に含まれて
います(一部30円)

今月の紙面

② 加盟組合からの報告【取り組みの成果】
・富山大「教室系技術職員の長年の要望が実現」
・大教大「非常勤職員の有給病欠休暇が30日に延長」
・佐賀大「子の看護休暇中学入学前まで延長等」
③ 第35回全大教中国四国地区教研集会(6月21日～22日)開催報告

④ 論壇「ハラスメント相談・私の対応」
徳島大学大学院社会産業理工学研究部、
総合科学部 教授 山口裕之
⑤ 単組からのレポート
・埼玉大学「教職員の生活環境を守る」
・奈良女子大学「組合の存在意義を問い直す」

第36回全大教高専協議会総会

高専の教育・研究の質の向上にむけて

教職員の声

オンライン

6月22日

全大教高専協議会は、6月22日にオンラインで総会を開催しました。冒頭に、高専協議会の岡本議長と全大教の永井書記長が挨拶を行い、続いて、新たに全大教への加盟申請を行った明石高専労組の紹介がありました。

当日は、高専の教職員が直面している過酷な労働環境に対する危機感を共有し、(加盟申請中の明石高専を含む)25単組から16単組18人の参加者と幹事会を合わせた総計25人

で意見を交わす、とても貴重な場となりました。また、幹事会の役員改選選挙も実施され、立候補者全員が信任されました。

経過報告及び高専をめぐる情勢

総会の前半では、高専協議会総会の議案および全大定期大会の高専関連議案に関する

設の老朽化も進んでいます。賃金・労働条件の改善及び教育・研究の整備・充実に関する要求

る審議が行われ、後半ではこれまでの団体交渉・理事長懇談、全大教の国会議員への要請活動や文科省意見に関して、幹事会からの報告がありました。さらに、「新たな組合員獲得に向けた取り組み」をテーマに、各高専の状況を報告し合い、意見交換が行われました。

高専を取り巻く環境は依然として厳しい現状で、教職員は長年にわたって「低賃金」「予算削減」「人員削減」の三重苦に直面しています。昨年は月例給与手当制度改定が行われましたが、依然としてラスパイレス指数は100を下回る状況であり、物価上昇を考慮すると実質的な賃金改善には至りません。

また、運営費交付金は年々削減され、2025年度の運営費交付金は独法化当初の2004年度と比べて約72億円減少しました。効率化係数の導入以降、各校の財政基盤は大きく揺らいでおり、当然施

す。(高専協議会幹事 赤塚司)

第32回教職員研究集会

対面会場：京都大学吉田キャンパス 吉田南構内 人間・環境学研究科棟

9月20日(土)13時～21日(日)16時

対面とオンラインのハイブリッド開催

集会のテーマ

「大学改革の現状と今後－私たちの進むべき方向」

分科会

- ◆教文部企画「学問の自由と大学の自治を守るために－国民の理解と支持をどう獲得するのか－」
- ◆組織拡大WG企画「【学習会】コミュニティ・オーガナイズを活用した活動の活性化」
- ◆高専(担当：高専協議会)
- ◆技術職員(担当：技術職員部)
- ◆病院(担当：病院協議会)
- ◆附属学校(担当：附属学校部)
- ◆青年(担当：青年部)
- ◆教員(担当：教員部)
- ◆非常勤職員(担当：非常勤職員部)
- ◆事務職員(担当：事務職員部)
- ◆大学共同利用機関(担当：大学共同利用機関部)
- ◆公立大学(担当：公立大学協議会)

【教研集会ページ】https://zendaikyo.or.jp/?page_id=995

【お申込み方法】所属組合へお問い合わせください

